

マンホール聖戦in三島 を活用した下水道事業PRの取組（静岡県三島市）

取組概要

- 市民参加型のイベントマンホール聖戦を共創で開催することで、今後の下水道施設の維持管理の効率化につなげるとともに、市民の皆様にも日常生活に密接に関わっている下水道事業を再認識してもらう
- 他事業と横断的にコラボすることでイベントの注目度をあげ、下水道事業のPR及びイメージアップをはかる

取組の効果

- 2日間で約10,000枚のマンホールの写真を収集
- テレビ3社、新聞8社、ネットニュース13件
- 参加者の4割がインフラの課題解決につながるというコンセプトに賛同
- 三島市の観光・特産品のPRに貢献
- 街歩きの楽しさの再発見に寄与
- 下水道事業のPRがお金をかけずに大々的にできた、継続して実施する

創意・工夫した点

- 共創・協働相手に対し、役割とメリットを明確化し協力を得たこと
- お金をかけず、スタッフが楽しんで取り組んだこと
- マスコミに注目されるストーリーにしたこと
- スピード感を持って取り組んだこと

他団体へのアドバイス

- 今回は運よく、関わってくれた全ての団体が満足する結果となりました
- 失敗を恐れていたなら、今回のイベントはできませんでした
- 新規事業は特に費用対効果を求められますが、挑戦することも楽しいですよ

人口 107,923 人 (R4.1.1現在)

担当 都市基盤部下水道課



マンホール撮影イメージ



テレビ取材状況